

平成28年度第1回 地球温暖化対策実行計画改定部会 議事要旨

日時： 平成28年4月28日（木）午前10時～12時

場所： 市役所第2庁舎3階302会議室

出席委員：

佐藤部会長、金森委員、春田特別委員、上坂特別委員

事務局（環境政策・放射能対策課）：

染谷環境政策・放射能対策課長、遠藤環境政策係長、関根主事

傍聴者：0名

議 題：

- 1 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案について
- 2 その他

資 料：

- ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）素案
- ・平成27年度第6回環境審議会意見

| 発言者 | 要旨 |
|---------------------------------|---|
| (議題1) 地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 素案について | |
| ～事務局より、素案及び前回審議会意見の説明 | |
| 春田委員 | 質問だが、審議会意見は今回資料の素案を示した状態のものか、示す前のものか。 |
| 事務局 | 審議会意見は、前回部会資料(素案でいうと3章のみ)を提示した段階での意見となっている。素案の形ではこの部会で初めて提示する。 |
| 春田委員 | 感想だがフォントも大きく見やすくできている。物語として見るとよくできていると思うが、目標設定をして管理する計画書として機能するかというのはまだ議論が必要と感じる。 |
| 事務局 | 市の方針として他の計画も含め、必要最低限の資料で薄くシンプルに作成するようにしている。 |
| 佐藤部長 | <p>全体の流れとしては良いと思うがいくつか提案を。流山の特殊な人口動態は排出量等にも影響を与えているため、1章基本事項に入れた方が良い。13ページ・15ページの排出係数の表は同じものなので一つにした方が良い。16ページ、将来推計の算定方法は資料編参照とあるが、1～2行でよいので概要を書いたほうが良い。22ページで民生部門の電力と自家用自動車を色で強調しているが、モノクロ印刷を考えると大きさやフォントで強調したほうがよい。24ページ以降の各重点施策の計算式は表形式をとっているため「＝」や「×」が見にくいので数式として認識できる表記としたほうが良い。33ページの「適応策」は目次では「5. 適応策」の扱いなので、「5」をふるように。36ページのイラスト等は親しみやすい雰囲気になるので、重点施策など全体的にこうしたイラストを増やしたほうが良い。現行計画の「ニコニコプラン」という名称は継承するとあるが、2020年に20%というのは修正しているので、きちんと記載したほうが良い。</p> <p>金森委員が問題提起した設備導入による経済的なメリッ</p> |

| | |
|------|--|
| | トについては、【活動量／円】の比率（例えばガソリン１リットル当たりの金額）が時間とともに変化するため、長期間使用する計画書に記載するよりは、広報や講座等で周知するのが適当と思われる。 |
| 金森委員 | 経済的なメリットは市民の最も興味のある効果であるので無視はできないが、正しく伝えられるかどうか懸念があった。 |
| 春田委員 | 団体に受託している市民環境講座などでは、例えば１０年使っている冷蔵庫の買い替えで電気代がどの程度変わるかなど、市民向けに金額的なメリットを多く用いて興味を引いているが、計画書にはあまり適当ではないと考える。 |
| 事務局 | 経済的なメリットを出すとすると、省エネルギーセンター資料のように一つ一つの設備投資や取組みによるコスト節減を積上げせざるを得ないと思うが、計画書としての意図としては少し外れると考える。講座や広報によるタイムリーな周知は行っていきたいが、部会長がおっしゃるとおり長期の計画書であるため示した経済的なメリットが時間とともに誤った情報になる可能性もある。 |
| 上坂委員 | 基本的な質問であるが、この実行計画はどこでどのように使う予定か。 |
| 事務局 | 概要版パンフレットのようなものを作成予定であり、小学４年生が行うクリーンセンター見学時に啓発資料として使いたいと考えている。計画書自体はホームページでは公表するが、冊子はモノクロの内部印刷になる可能性が高いが図書館などに配架する。 |
| 春田委員 | 市の作る資料は非常に立派で見ごたえがあるので有料でも冊子として欲しいという要望があると思う。作って終わりというのでは困るのでカラー版の印刷も考えて欲しい。 |
| 事務局 | 計画の印刷については現状では内部印刷が中心となり、予算を取っての印刷製本は行っていない。 |
| 春田委員 | 少なくとも図書館に配架するものと頒布用にはきちんとした印刷物が欲しい。 |

| | |
|------|--|
| 事務局 | <p>逆に小部数の印刷になると非常に割高になるので現実的でない。市勢要覧でも現在作成・印刷を控えている自治体も多く、印刷製本費は非常に厳しいとご理解いただきたい。また、イラストなどの体裁の話が出たが、現素案段階では文章的な部分を見ていただき、今後、体裁や図表、イラスト等については詰めていきたい。</p> |
| 金森委員 | <p>体裁の話でいうと、冊子になったときのページの見開きなども気にしているようなので良いと思うが、36ページからの適応策については国の適応計画から一般的な情報を多く持ってきているので2ページに収め、逆に36ページにあるような市民が具体的な取組みとして見ることができる部分にページを割くと良い。自分の家の場合この機器が電気を多く使っているなどに気付くような勘を養えるような情報を示せると良い。具体的には、何年前の機器から最新の機器への買い替えで、どの程度変わるのかという感覚に気付けるような情報提供ができると良い。</p> |
| 事務局 | <p>委員のおっしゃるような視点を入れて拡大する方向で考えたい。</p> |
| 春田委員 | <p>冷蔵庫の製造年と消費電力のグラフなどは公表されているのでこういうものも取り入れると良い。現行計画でもそうだが、目標に対する指標の設定が正しいのかという不満がある。例えば重点施策②で削減する数字があって、太陽熱温水器の普及を施策として書いておきながら、普及台数などの指標が無い。目標値の数字を掲げたならそれに対する施策と指標が整合していないとPDCAが回せない。</p> |
| 事務局 | <p>目標値は前回部会で提示した資料3の具体的な取組みの積上げから作っているなので、正確に言えばその取組みの全てを指標にしないとイケないが現実的には指標の取得ができないものも多い。現状では市で把握できる指標を上げて管理することになる。またPDCAで言えば事務事業評価で各事業の進行管理を行っており、この指標はずっと同じということではなく適宜見直して追加するので計画書につ</p> |

| | |
|-------|---|
| | いても適宜把握できる指標が増えた場合には対応していく。 |
| 佐藤部会長 | 基本事項の進行管理にもう少しそのあたりを記載することで対応願いたい。 |
| 春田委員 | 市民が行うべき領域と事業者が行うべき領域があると思うのでここをきちんと区別すべき。他市では冷蔵庫を買い換えると 5,000 円補助などを行っているところもある。こうした施策も検討できると良い。 |
| 事務局 | 家電補助は検討したことがあるが、他の補助事業と同様に市内事業者限定などを行った場合、市内産業育成というより特定の手家電量販店への補助になってしまうなど懸案が多い。 |
| 佐藤部会長 | どこまで細かい取組みを記載するかの問題もある。 |
| 事務局 | おっしゃるとおり、計画書に記載するに当たって具体的な取組みとあるが、ある程度幅広に記載せざるを得ない面もある。 |
| 金森委員 | 重点施策にある具体的な取組みは市役所が行うことだけが書いてあるように見受けられるが、計画として市が行うことを書くものなのか。市民や事業者などの市の構成メンバーも行うことを書くものではないのか。 |
| 事務局 | 基本的には行政が行うことを中心に書いてあるが、計画の目的にもあるように、計画自体は市民・事業者・市の各主体の取組みを位置付けるものとなっている。重点施策に記載するものは市が行う施策が中心となり、その施策により市民・事業者に行動を起こしてもらいたい市民の取組みとしては 36 ページのように別に記載している。 |
| 金森委員 | 重点施策にあるのが市の施策のみなので、一般市民が見たときに人ごとというか、自分の問題として受け取れないのではないかと印象を受けた。重点施策に市民・事業者のやるべきことも記載し、それを市が後押しするという表記が良いのではないか。 |

| | |
|-------|--|
| 事務局 | 金森委員がおっしゃる記載はおそらく正しい記載方法であり、他市計画書でも、1ページの枠に市の取組み、市民の取組み、事業者の取組みを羅列するものも多く見られる。作成者としては、行政の計画書に「市民のやるべきこと」「事業者のやるべきこと」と一方的に記載することに抵抗があった。 |
| 春田委員 | 計画書はそれぞれの主体が行うべきことを位置付けるものと思うが環境基本計画はどうか。 |
| 事務局 | 環境基本計画でも、各基本目標では市の施策を中心に記載し、基本目標5の後に、それぞれの基本目標に対応して市民・事業者をお願いしたいこととして取組みを記載している。個人的には他市の計画書で多く見られる「市民のやるべきこと」として「太陽光を積極的に導入します」などの書き方には違和感がある。基本的には市民・事業者と協働・協力して施策を推進するものであり、市の行う施策で市民が取り組みやすくすることを記載したいと考えた。 |
| 金森委員 | 市民・事業者の位置付けを行うことに問題ないか。 |
| 事務局 | それは問題ない。 |
| 金森委員 | であれば、市民の要求に対応して市の施策があるという書き方など工夫はできると思う。例えば24ページなどで言えば、市民の情報を得たいという要求に対して市民環境講座やホームページの情報提供があるなど、全部が全部リンクはできないかもしれないが、記載方法は工夫できるのではないか。 |
| 佐藤部会長 | 具体的な記載方法があれば事務局に意見提出して欲しい。 |
| 春田委員 | パブリックコメントに関して修正が行われないケースが多く感じるが。 |
| 事務局 | 基本的に取り入れられる意見は取り入れる方針で行っているが、それまでの審議会や部会での審議、内部調整過程、議会説明等を行った後となるので、これと主旨が異なる意見については取り入れられない。 |

| | |
|------|---|
| 春田委員 | パブリックコメントを行った後に審議する機会はあるか。 |
| 事務局 | 答申を受けた後にパブリックコメントを行うので、審議会への報告は行うが、パブリックコメントに対する審議会・部会への意見聴取は行わない。 |
| 春田委員 | 市民アンケートについて回収率はいかがか。 |
| 事務局 | 環境基本計画時のアンケートを使っているが40数パーセントだったと思う。 |
| 春田委員 | 回答率・回答数を増やす必要があると考えるが、まちづくり達成度アンケートの母数を3000から増やすなどは検討しないのか。 |
| 事務局 | 統計上、流山市で十分とされる母数が3000と聞いている。また、回答率を増やすという考え方は基本計画策定時に審議会でも鉛筆を入れてすぐに記載できるようにするなどの方法が議論されたが、恣意的に回答率を上げるような手法は統計学上問題があるのではないかとされた。 |
| 佐藤部長 | 資料編（7）適応計画の「陸域生態系」の部分。「物資収支」→「物質収支」の誤りと思われるので確認を。また本編7ページ「事務事業変」→「事務事業編」の誤字修正を。また意見として資料編「2．国際背景と国内外の動向」に流山の動向、例えば実行計画の策定などを年表的に入れられると良い。 |
| 春田委員 | ニコニコプランは目標値が2020年に20%だったことが由来だが名称変更はしないのか。 |
| 事務局 | 今回の修正で2030年に20%となったが、本編3ページにあるとおり、ソフトパワーを生かし楽しんで温暖化防止に取り組む当初計画の理念を継承しニコニコプランの名称は継承したいと考えている。 |
| 春田委員 | ニコニコプランって何だ、と思ったときにピンと来ないのでは。 |
| 事務局 | 確かに説明が必要になるのでもう少し前計画に記載された事項を加えるように検討する。また、今回はマイナーチ |

| | |
|--|--|
| | <p>エンジの改定と考えているので、次回 2020 年以降の改定時には名称も含め検討が必要と考えている。</p> |
| 佐藤部長 | <p>計画書としてよくできていると思うので、金森委員が言うように市民が取り組む気になるよう 36 ページのようなイラスト等を盛り込んで作っていただきたい。事務局から議題 2 「その他」について説明を。</p> |
| 事務局 | <p>今後の予定として、皆さんの意見を反映させ 6 月 27 日の審議会に報告を行うが、この前に再度部会を開催すべきかどうか意見をいただきたい。</p> |
| 春田委員 | <p>その前に一点、現行計画では各重点プロジェクトによる削減量を記載していたがこれが外されている。ここは必要ではないか。</p> |
| 事務局 | <p>各施策の削減効果は今回提示できなかった積上げによるものを入れる予定である。現行計画は削減量の積み上げを 1 プロジェクト、1 施策で積上げている。今回は複数の取り組みの積上げから削減量を試算しており、例えば L E D の導入量を何%とすればどれだけ削減できるかの試算をしているが、市民の L E D の導入率自体は指標として得ることはできないとご理解いただきたい。</p> |
| 佐藤部長 | <p>審議会への部会案提出前に、5 月に再度審議することとしたいがいかがか。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月 2 6 日（木）1 0 時からとした。 ・ 現時点で追加の意見がある場合、5 月 1 0 日までに提出いただくこととした。 | |